

世界最高水準の教育・研究レベル

World-Recognized Top-Level Education and Research

奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST) は、真の意味での国際競争力がある大学を目指します。一つ一つの研究成果はもちろん、他の分野との連携など総合的な観点からの研究拠点づくり、グローバルで柔軟な人材育成に努めます。NAISTの未知への挑戦の姿をお届けします。



世界最高水準の教育・研究レベル



相手は世界だ
最先端を究める

グローバルCOEプログラム

平成19年度
生命科学分野で
採択

グローバルCOEプログラムとは、大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、●世界をリードする創造的な人材育成を図る

●国際競争力のある大学づくりを推進する

ことを目標として平成19年度からスタートした文部科学省の支援事業で、平成19年度に**バイオサイエンス研究科**及び**情報科学研究科**情報生命科学専攻の融合グループの「**フロンティア生命科学グローバルプログラム**」が、生命科学分野13拠点の一つとして、21世紀COEプログラム「細胞機能を支える動的分子ネットワーク」に引き続き採択されました。

大学院教育改革支援プログラム

平成19年度
情報科学研究科、
バイオサイエンス
研究科が採択

優れた教育の取り組みに対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化を推進することを目的として平成19年度からスタートした

文部科学省の支援事業で、平成19年度に**情報科学研究科**と**バイオサイエンス研究科**が採択されました。

本プログラムの前身である「魅力ある大学院教育」イニシアティブでは、平成18年度から2年間、物質創成科学研究科において採択されました。

先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム

平成19年度
情報科学研究科を
代表とするプログラム
が採択

大学間及び産学の壁を越えて潜在力を結集し、教育内容・体制を強化することにより、世界一安心できるIT社会の実現を担う、情報セキュリティ分野における世界最高水準の人材を育成する教育拠点の形成を目的とする、文部科学省の支援事業で、平成19年度に**情報科学研究科**を代表とするプログラムが採択されました(全国で採択数2件のうち1件)。

大学知的財産本部整備事業

事業評価で
最高の評価

●総合1位(評価観点4項目中、3項目で1位)

大学・大学院の研究成果である有効な知的財産をどのように創出し、管理・活用するのか。その体制整備を支援する文部科学省の「大学知的財産本部整備事業」(平成15年度—19年度)の事業評価が行われ、評価観点4項目中、3項目で1位、総合点で1位にランク付けされました。

文部科学省 産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)

産学官連携戦略展開事業とは、イノベーション創出の原動力である大学等の知的財産戦略などが持続的に展開されるよう、主体的かつ多様な特色ある取り組みを国公私立大学等を通じて支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的として、平成20年度からスタートした文部科学省の支援事業。本学産学官連携推進本部が「国際的な産学官連携活動の推進」の実施機関(全国17機関の1機関)に採択されました。

「国際的な産学官
連携活動の推進」の
実施機関に採択

植物科学研究教育推進事業

日本の植物科学
レベルの向上に
貢献

文部科学省の支援を受けて平成17年度から発足した、植物科学系大学院生の教育を主眼とした事業で、毎年全国の大学院生からプロジェクトの公募を行い、優秀なプロジェクトに対し、研究費の支援、技術指導を主体とした研究の推進支援を行っています。また、全国の大学院生や若手研究者が集い、交流できる場所を提供することにより、植物科学系の若手研究者間のネットワークづくりを推進し、日本の植物科学レベルの向上に貢献することを目指しています。